



人権だより

人権が尊重された地域づくりのために

1948年12月の国連総会で、世界人権宣言が採択されてから、半世紀以上が過ぎました。各国で、国民の人権を守る努力が続けられています。その世界人権宣言の第一条には、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない」と明記されております。

しかし、残念なことに現在世界中で、紛争やテロが相継ぎ、女性や子どもを始めとして多くの罪の無い人々が苦しんでいます。一方国内においても、子どもの虐待、高齢者への詐欺行為、最近では、障害者に対する偏見から、痛ましい事件が発生するなど解決しきれない人権問題がたくさんあります。

これらの問題は、なかなか身近に感じられないかもしれませんが、しかし、実は、私たちの意識の中にある**思いこみ**や**偏見**から生まれていることを御存知でしょうか。塩谷南那須教育事務所では、こうした問題に気づき、人権について一人一人が自分の問題として考えてもらえるように様々な取組を市町教育委員会と連携して実施しております。さらに人権が尊重された地域となることを願い人権だよりを発行いたします。

これまでの取組の紹介（その1）

塩谷南那須地区ふれあい人権フォーラム

塩谷南那須地区ふれあい人権フォーラム（人権教育指導者一般研修）を6月21日（火）、那珂川町小川総合福祉センターで開催しました。

今年度の講演会では、子育てアドバイザーの幸島美智子氏を招いて、「安心して生きられる子どもの権利を守るために」～家庭・地域で考える～をテーマにこれまで、警察官のキャリアと自身の子育てに携わった経験を基にした話を伺うことができました。



【幸島美智子（こうじまみちこ）氏】

<印象深い内容を紹介します。>

「10年毎に親は覚悟をしましょう。」

自立とは、**自分の力で働き生活すること**。自律とは、**常識のある人のこと**です。それらは、子育ての最終目標と言えます。そのために、子どもが生まれてから、最初の10年間は、「この子のために生きるんだ。愛情をかけるんだ。」後の10年間は、「この子を信じて、遠くからから見守るんだ。もし、何かあったら腹を切る。」そんな覚悟を親はしなくてはなりません。

「体を心配する言葉かけをしましょう。」

子どもが夜遅く帰って来たら、叱る前に体をいたわる言葉かけをしましょう。子どもは、家の明かりを求めて帰ってくるのです。

「本物の生きる力を伸ばしましょう。」

幼稚園保育園児の母親に「**お子さんは、生卵が割れますか。**」と尋ねます。食事を自分で作れる子に育てましょう。また、「**YES、NOで答える会話をしてませんか。**」コミュニケーション力を育み、初めて会った人と会話ができる大人に育てましょう。

「みんな我が子と思える子育てをしましょう」

地域の子どもに「**家に来て御飯を食べな。**」と言える親になりましょう。

「『ありがとう』には、パワーがあります。」

何気ない一言が大切です。なぜなら、子どもの心を安定させるからです。

これまでの取組の紹介（その2）

人権教育指導者地区別研修

4月28日（木）と7月13日（水）に塩谷町、那須烏山市で市町生涯学習・社会教育関係職員を対象に研修を実施しました。

4月1日に施行されました「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」や「LGBTに関わる人権問題」等についての説明、啓発用DVDの視聴などを中心に研修しました。



【研修の様子】

これまでの取組の紹介（その3）



出前講座の実施



【出前の様子】

ふれあい学習課では、PTA研修、公民館講座等で、成人を対象に人権に関する出前講座を実施してきました。相談に応じてテーマを設定し、講座を実施しています。

（講座例）

「子どもの自尊感情を育む家庭教育」
「身近にある様々な人権問題について目を向けよう」
「よりよい人間関係を築くために」等

人権に関する社会教育指導資料の配布

平成27年度資料『育ち合う絆づくり～大切な私 大切なあなた～』を作成し、配布しています。

平成27年度に作成しました資料は、『よりよい人間関係づくり』をテーマとし、互いに大切な存在として尊重しあうこと、自分の内面に存在する思いこみや偏見に気付くことについて考えを深められるように資料を作成しました。

初めての方でも活用しやすいように、言葉かけ例やワークシートを掲載しました。

PTA研修会や学年懇談会等でぜひ御活用ください。



記載されている主なプログラムを紹介します。

- ・プラスストロークの贈り物～自尊感情を高めあうために～
- ・聴き上手になろう～考えよう相手の気持ち～
- ・女らしい！男らしい！…って？～ジェンダーにとらわれない社会を目指そう～
- ・“とちぎ”から世界を考える ～外国人の立場に立って～
- ・電車の中で ～思いこみで人を見ていませんか～

